

京都大阪森林管理事務所(京都府分)

担当者
 森林技術指導官: 植田修司
 TEL: 075-414-9822

- ▶ 京都府の森林は、都市近郊に位置する南部地域、由良川・淀川源流域に位置する中部地域、丹波山地に広く覆われた中丹地域、日本海に面する丹後地域に分布しています。府土面積の74% (343千ha) が森林であり、このうち国有林は官行造林を含め8千haあります
- ▶ 民有林では、スギ、ヒノキを中心とする人工林が127千haで、人工林率が38%と全国平均46%を下回っていますが、京都市・北桑田を中心とした中部地域では、磨丸太、桁丸太等の優良材生産を行っている府内で最も進んだ林業地帯であり、また、綾部・舞鶴・福知山を中心とした中丹地域は、戦後急速に拡大造林が進んだ地域で森林資源も充実しつつあり、中部地域に次ぐ新興林業地域となっています。
- ▶ 一方、国有林は、府内森林面積のわずか2%で面積的に占める割合は低いものの、奥地脊梁地帯から中山間、都市近郊に広く分布しており、それぞれの国有林のおかれた自然的・社会経済的特性を反映し、国土の保全、水源の涵養、保健・文化・教育的な利用の場として、森林の多面的機能の発揮に寄与しています。特に、京都市内に点在する国有林は、日本を代表する古都京都の主要な景勝地であるとともに神社仏閣の背景林として、多くの国民に親しまれており、歴史的経緯及び文化的背景を踏まえた森林景観の維持・管理を行っています。
- ▶ 京都府との地域林政連絡会議では、平成25年度の地域課題の解決に向けた取組の総括を行い、平成26年度の民国連携の取組に向けて、木材の安定供給と府内産木材の利用促進、鳥獣被害対策、林業の担い手対策への取組について意見交換を行いました。
- ▶ 国有林が所在する市町の地域課題や共通課題について、各種会議等の場を利用して幅広い情報収集を行っており、それぞれの市町が抱えている鳥獣被害対策等の地域課題について、民国が連携した取組を展開しています。



(京都府との地域林政連絡会議の様子)

鳥獣被害対策の推進

【課題】 ニホンジカ等の個体数管理 (継続)

【取組状況】

- ・ 京都市有害鳥獣対策協議会へ参画し、情報共有及び対策の検討を実施。
- ・ 京都府、京都市、京都府猟友会、教育機関、地元住民と連携し、くくり罠と箱罠によるニホンジカ等の捕獲を実施。
- ・ ニホンジカの被害・生息状況を把握するため、国有林野内において簡易生息・被害調査を行い、関係機関等へ情報共有を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ くくり罠によりニホンジカを捕獲し、個体数管理に寄与。今後、更なる捕獲頭数の増加に向けて、関係者による意見交換等を予定。
- ・ 国有林内におけるシカの目撃情報を収集し、今後、関係行政機関等との情報共有により効率的・効果的な有害鳥獣駆除対策を検討。
- ・ ニホンジカの個体数管理について、次年度も取組を継続することとし、関係機関等への連絡調整を予定。
- ・ 地元との意見交換会や交流を通してニホンジカ等の捕獲の要望に応えることで、地域との協力体制を構築しました。



(箱罠設置の様子)



(くくり罠による捕獲の様子)

国有林でのニホンジカ等捕獲実績

		11月	12月	1月	2月	3月	計
捕獲頭数	ニホンジカ	3	4	5	10	—	22
	イノシシ		1		1	—	2
	計	3	5	5	11	—	24

*捕獲の委託事業は2月まで実施

林産物の安定供給

【課題1】木材の安定供給と府内産木材の利用促進（継続）

【取組状況】

- ・ 駒倉及び高台寺山国有林で素材生産事業を実施し、原木市場へ約650m³、安定供給システムにより約70m³の間伐材を供給。
- ・ 由良川森林共同施業団地の森林整備の促進に向け、古屋国有林において林業専用道の新設工事を実施。
- ・ 治山・土木事業の木材利用において、府内産材の活用を積極的に実施。
- ・ 「森林・林業経営高度化アクションプラン」に基づく府内産木材の集出荷体制の一本化に向けて、京都府、京都府森林組合連合会と原木の需給調整について意見交換を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 駒倉及び高台寺山国有林から生産された木材は、原木市場への委託販売等により地域への計画的な供給に寄与。
- ・ 計画的な路網整備の実施により、今後、森林整備に伴い発生する間伐材等について、安定的な供給を予定。
- ・ 国有林における治山・土木工事において、平成26年度に118m³の府内産材を使用。
- ・ 府内産木材の集出荷体制の構築にあたり、今後、国有林材の受入について調整を予定。



銀閣寺山国有林

（治山工事への府内産材利用の様子）



（高台寺山国有林での素材生産事業の様子）



（古屋国有林の完成した林業専用道）

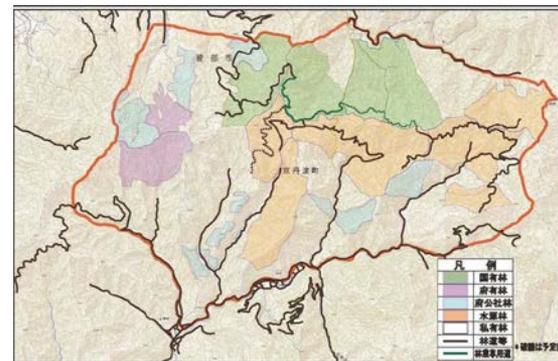
【課題2】民国一体の管理経営の推進（新規）

【取組状況】

- ・ 由良川森林共同施業団地に隣接する民有林について、民国一体の管理経営による将来ビジョンの検討を実施。

【今後の課題】

- ・ 民有林の森林資源や路網等について、森林GISによる一元的なデータの管理・分析に向けた環境整備を予定。
- ・ 綾部市が策定した「森林マスタープラン」を参考に、経済林の適地分析を予定。
- ・ 航空レーザー測量を用いた森林資源データの活用について、当概地域においてモデル林となるよう働きかけを予定。
- ・ 民国一体管理の中長期的な将来ビジョンを作成し、民有林所有者へ地域の森林の整備、林業や木材産業の活性化に向けた構想を提示予定。



（検討中の民国一体の管理経営予定箇所）

人材育成

【課題】林業の担い手等人材の育成（継続）

【取組状況】

- ・ 高台寺山国有林において、市民を対象に檜皮採取実演見学会を実施し、原皮師養成のためのフィールドを提供。また、文化財屋根葺土の養成を目的とした技術・技能研修に講師として参画。
- ・ 安祥寺山国有林において、京都市立峰ヶ岡中学校の生徒を対象とした職場体験を実施。
- ・ 高台寺山国有林において、京都大学生を対象とした森林科学実習を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 文化財屋根葺土養成研修により、社寺等の伝統的な木造建築物に係る屋根技能、採取技能（原皮師）、茅葺技能（茅葺土）の技術者の育成に寄与。
- ・ 教育機関と連携した森林・林業の担い手の育成に寄与。



高台寺山国有林

（檜皮採取実演の様子）